

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		地域緑化推進				所管	環境清掃部		
							環境課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	103	計画事業名	地域緑化推進			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (3)持続可能な都市環境づくりの推進					[事業開始]	昭和50年度	
		[施策] ①ヒートアイランド・地球温暖化対策の推進[40]					[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区みどりの条例				
	事業対象	区民及び事業者							
	事業目的	緑豊かなまちづくりのため、身近な緑の普及啓発を行うとともに、屋上・壁面・地先緑化等、緑化に要した費用の一部助成、保護樹木等への維持管理費の助成により、区内の緑の創出と、貴重な緑資源である樹木の健全な生育を促し、都市環境の保全を図りながら、ヒートアイランド・地球温暖化対策を推進する。							
	事業内容	1. 保護樹木所有者への支援(指定・解除・助成金) 2. 民間施設緑化助成金交付申請に対する審査・交付(平成26年度より貸駐駐車場に対する助成制度を開始) 3. グリーン・リーダー活動支援 4. あさがお講習会・展示会の開催 5. みどりのカーテンプロジェクト 6. 緑化関連講習会							
委託の有無	一部委託		委託内容	朝顔展示会会場設営委託					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	グリーン・リーダー活動回数	回	25	22	39	25		
		保護樹木新規指定件数	本・件	5	0	20	0		
	成果指標	緑に関する講習会等の参加者数	人	1,400	921	1,238	1,379		
		グリーン・リーダー活動平均参加者数	人	26.0	25.5	24.8	24.2		
	決算額 (単位:千円)				7,621	6,108	4,664		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			9,139	9,105	10,313		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,071	1,777	2,379		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			5,551	4,260	2,198		
		総経費			16,761	15,142	14,890		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			139	147	314			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			2,622	687	666			
	一般財源(区負担額)			14,000	14,308	13,910			
前年度から改善した事項	緑の基本計画を推進するため、緑の下町散歩道(谷中編)を台東区グリーン・リーダーとともに経路検討をし、成果品としてマップを作成した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	みどりの普及啓発や地域における緑化活動は、個々の住環境改善から地域へ、ひいては区全体の快適な都市空間の創出、ヒートアイランド現象の緩和や適応策などに役立つことから、依然として必要性が高い。						
	効率性	3	地域緑化推進の各事業等において、台東区グリーン・リーダーが積極的に活躍する場を作ることで、効率的な事業運営に努めた。						
	手段の適切性	2	緑化の施工費は、高反射塗料施工に比べ維持管理も含め高価であり、太陽光発電システムには、売電収入が見込めるなどの理由から、民間施設緑化助成実績は減少傾向である。緑化の効果や適切な維持管理方法を普及しつつ、緑化を促す方法を検討する必要がある。						
	目的達成度	3	グリーン・リーダーの活動は一定の成果を挙げている。また、25年度より次世代を担う子供に緑の大切さを知ってもらうため、子供向けの緑化講習会を開催した。今後も様々な機会により多くの区民に緑の大切さを普及啓発していく必要がある。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性		
民間施設緑化助成金については、助成実績は、減少傾向であるが、緑は憩いの場の提供やヒートアイランド対策など重要な役割を果たす。今後は、緑の効果のパンフレットで、緑の役割を広く周知していくとともに、緑の下町散歩道を利用した様々なイベントを展開しながら、緑化を推進する。							改善	拡大改善維持縮小廃止・終了	